

SR-S224PS1 V03.00 変更内容一覧

□機能追加

No.	項目	内容
1	リンクアグリゲーション	LACPをサポートする。
2	STP	MSTPのリージョン間接続をサポートする。
3	QoS	VLAN単位にフィルタ/QoSを設定可能にする。
4	IGMPスヌープ	IGMPスヌープで以下の改善を行う。 (1)querier動作のON/OFF querier動作のON/OFFをコマンドで設定可能にする。 (2)querier動作のコマンドでの表示 show igmpsnoop でquerier動作の状態を表示する。 (3)Leave Groupメッセージ受信時の動作の変更 Leave Groupメッセージ受信時にquerierかどうかによって動作を変えるよう変更する。
5	運用コマンド	commit実行時の定義矛盾のsyslogを、commitを実行した端末に表示する。
6	QoS	COSを書換ええないQoS機能をサポートする。
7	VLAN	802.1X/WEB認証/MAC認証の認証ポートに対してMagic Packetを転送する機能をサポートする。
8	MACアドレス認証	受信したパケットのMACアドレスで認証を行なう機能をサポートする。
9	802.1X/WEB認証	802.1X, およびWeb認証で、RADIUSサーバからVLAN IDが通知されなかった場合、現状、1固定であるVLANをポート単位に設定可能にする
10	SNMP	SNMPからの回線の接続/切断指示機能サポート MIBのinterfaceグループのifAdminStatusのset機能をサポートする。set可能なifIndexは7000番台(物理ポート)のみ。
11	BCM-SWTドライバ	1Gbpsポートでの10Mbpsをサポートする。

□修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V02.01	MSTPリージョン間接続構成で、リージョン内のインスタンス定義変更を繰り返すとloop検出してしまう場合がある。
2	V02.01	MSTPリージョン間の経路変更でloop検出してしまうことがある。
3	V02.01	TCPを利用するアプリケーションが機能停止状態になる場合がある。
4	V02.01	INDEXとしてゼロをとり得るMIB値の場合、GET-NEXT要求で適切なMIB値が取得できない場合がある。
5	V02.01	IPフィルタにて、IP payloadが1 octetしかないICMPパケットの場合に、ICMPフィルタ条件があっても透過する場合がある。
6	V02.01	同一のMACアドレスにて動的学習エントリと隠しVLANでの内部学習エントリが存在する場合にdot1dTpFdbAddressで該当エントリが取得できない場合がある。
7	V02.01	Web認証にて、認証割当てされたVLANが、tagged-vlanなどでポートに定義されている場合に認証失敗とならない。
8	V02.01	認証ポートにて端末認証状態からVLAN定義を変更した場合に認証端末が通信できなくなる場合がある。
9	V02.01	telnet接続でログインし、更にtelnetコマンドで他装置にログインしているとき、コピー&ペーストやファイル送信等で大量のテキストデータを送信するとデータ抜けが発生する。
10	V02.01	aaa user supplicant mac定義をdeleteコマンドで削除できない場合がある。
11	V02.01	Web認証とリンクアグリゲーションが共存可能になっている。
12	V02.01	MSTP使用時にether use on/offを繰り返すとメモリ使用量が増加していく。
13	V02.01	コマンド名補完において、マニュアルに記載されていないコマンドが誤って表示される。
14	V02.01	ループ構成でIGMPスヌープを使用するとIGMP QueryパケットがSTPの状態にかかわらずループすることがある。
15	V02.01	POEのRESET信号がON/OFFを繰り返してもハードエラー検出しない場合がある。
16	V02.01	非認証状態の認証ポートにて受信したWake On LANパケットを転送してしまう。
17	V02.01	vlan nameコマンドにて定義済みのVLAN名称を再設定すると二重定義エラーとなる。
18	V02.01	STPTポロジチェンジ発生時のL2Macアドレス学習テーブルクリア処理を次のように変更する。  STPのトポジチェンジ発生時に下位装置からTCN BPDUを受信したタイミングでL2Macアドレス学習テーブルをクリアしていたが、Root BridgeからTCフラグ付きBPDUを受信したタイミングでL2Macアドレス学習テーブルをクリアするよう変更する。

19	V02.01	STPのトポロジチェンジ発生後、トポロジ安定状態でも通信復旧までに時間が掛かる場合がある。
20	V02.01	802.1X認証を繰り返したときマニュアルにないログが出力される。
21	V02.01	fragmentされたIP option付きの自装置宛パケットを受信した場合に、正しく処理できない場合がある。